

1. 計画について (4件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
1	計画全般	立派な計画を立案して頂き、お疲れ様です。現実には活動していく為には手間暇かかる問題をクリアしないとイケない。	全般	1	参考	計画を実践していくことが大切なので、今後もこの計画の中で取組み、広くPRしていきます。
2		図書館が様々な事業を展開していることを知った。	全般	1		
3		他市町村に比べて高等学校も丁寧にあつまっている。	全般	1		
4	年齢別登録者数	「年齢別登録者数」に「16～18歳」もあるといい。	7	1	参考	年齢別登録者については、システムの関係で、16～18歳という枠での統計はとっていません。今後の参考とさせていただきます。

2. 読書環境の整備について (8件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
5	読書へのきっかけづくり	保育園はブックスタート(本にはじめて出会う)の場。本に興味をもつような楽しい導入が必要。	5、22	1	参考	計画の参考とさせていただきます。今後も、子ども読書パック・訪問サービス・絵本の寄贈などを行い、支援していきます。
6		子どもの誕生日に本を贈るBBC(Birthday Book for Chidrenn)をやってほしい。司書が作成したブックリストと振興券引換券を学校から子どもに渡し、市内の書店で本を買うという仕組み。家庭・学校・図書館・行政が連携でき、地元商店街も潤う。	22、24、29	1	参考	予算化の問題もあり、すぐには難しいですが、今後の計画の参考とさせていただきます。
7	学校図書館と市図書館の連携	<p>私立小学校で「読書」の授業に取り組んでいる。</p> <p>●学校図書館(私立)と市図書館の連携を深めたい。市図書館での授業、授業内容で用いる資料の充実、開館時間の見直し等。</p> <p>●授業現場や学校図書館での取組みを実際に見たい。</p>	25	2	追加	P25に「また、私立の学校からも要望があれば積極的に連携していきます。」と追加しました。

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
8	情報交換	図書館司書と保育士・幼稚園教諭による情報交換の場を設けてほしい。	8、23 27	1	案にあり	計画の中で今後も取り組んでいきます。
9	子ども読書活動関連予算の拡充について	ブックスタートやデータ化支援、学習パック等の学校への搬送だけでなく、広汎で多彩な取り組みをするため、子ども読書活動関連の予算の拡充を。各省庁の委託事業への応募やNPOとの協働で各種関連基金などへの応募を積極的におこなっていただきたい。「住民生活に光をそそぐ交付金」等地方交付税の不交付団体であることを理由に、交付自治体に比べて子どもの読書環境が劣悪になってしまうことがあってはならない。	—	1	参考	計画の参考とさせていただきます。
10	読書環境の整備	幼児期から絵本を見る、お絵描きをするなどの習慣が大切。神奈川県と鎌倉の昔話(伝承と歴史)を子どもの成長(幼児、児童、生徒)にあわせた絵本から歴史書までを、幼稚園、保育所、小学校、中学校、各地区図書館(高校生～)に完備する事が重要。	19、21	1	参考	計画の参考とさせていただきます。
11	保育園への図書への寄贈	大変ありがたい。	7、22	1	案にあり	計画の中で今後も取り組んでいきます。

3. 市図書館の事業について (12件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
12	ブックスタート事業について	ブックスタートを続けてほしい。	5、6、 22	1	案にあり	計画の中で今後も取り組んでいきます。
13		おはなしボランティアをしているので、ブックスタートの成果が得られて嬉しい。	5、6、 22	1		
14		鎌倉市の活動はありがたい。	5、6、 22	1		

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
15	おはなし会について	土日にやっていただけると、保育園の保護者も行きやすい。	14、27	1	追加	P27に「おはなし会などの行事の土日開催も検討していきます。」と追加しました。
16	訪問サービスについて	訪問サービスの詳細を知りたい。例えばアナウンサーや声優たちの読み聞かせなどの企画を園単位で依頼できるのか。	15、17、27、28	1	参考	計画の参考とさせていただきます。
17		保育園への訪問サービスを続けてほしい。	5、6、15、22、27	1	案にあり	計画の中で今後も取り組んでいきます。
18		本の整理や図書コーナーの構成方法などのアドバイスを希望。	17、28	1		
19	本の紹介リストについて	「夏休みおススメの本」リストを市内小学校だけでなく、中学校にも配布してほしい。	8、23	1	案にあり	計画の中で今後も取り組んでいきます。
20		年齢に応じておススメの本のリストなど作成してほしい。図書館に行っても、何を読んであげていいのかわからない保護者も多い。	8、23	1		
21	本のリクエスト	絶版になってしまう本があり、大変残念。もう一度読みたい本のリクエストを受けつけ、できる限り図書館においてほしい。	14、26	1	案にあり	計画の中で今後も取り組んでいきます。
22	図書館への来館	図書館に赤ちゃんタイムを設けてほしい。	13	1	参考	計画の参考とさせていただきます。
23	団体貸出	団体貸出制度により、子ども達にたくさんの本を提供でき、ありがたい。	6、22	1	案にあり	計画の中で今後も取り組んでいきます。団体貸出などを通じ、地域の私設図書館との連携に今後も努めます。

4. 学校について (8件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
24	学校図書館について	全小中学校に学校図書館専門員・読書活動推進員を配置したこと、ブックトーク活動など学校図書館の取組みを知った。	10、11、24	1	案にあり	今後もこの計画の中で取り組み、広くPRしていきます。
25	学校・読書へのきっかけづくり	本に興味のない子どもに読書の楽しさを知らせることが大切。そのためには、学校での読み聞かせが一番。	10、24	1	案にあり	計画の中で今後も取り組んでいきます。学校での朝の読書活動(朝読)については、積極的に関わっていきます。
26	学習パックについて	学習パックが児童の調べ学習にたいへん役立っているが、現状の図書館員の搬送では、授業の進度によってすぐに利用したいというニーズに間に合わない。限られた蔵書を有効に利用するために日常的な搬送システムを望む。	10、12、18、25	1	案にあり	計画の中で今後も取り組んでいきます。搬送システムも検討していきますが、学校のニーズに合わせた搬送に努めます。
27		学習パックの「仕事」「福祉」「世界の国々」「環境」は中学生向けのものを作ってほしい。	10、12、18、24、28	1	案にあり	計画の中で今後も取り組んでいきます。中学生用の「仕事」についてはニーズも高いので、早急に着手する予定です。
28	子ども読書パックについて	子ども読書パックは1か月毎の貸出ではなく、学期毎の貸出にしてほしい。1か月毎に各クラスに回したりできると便利。	6、12、18、24、28	1	案にあり	計画の中で今後も取り組んでいきます。
29	学校図書館の蔵書のデータ化について	<ul style="list-style-type: none"> ●公立小・中学校の学校図書館資料のデータ化の実現を希望。 ●学校図書館のデータ化は、無償で提供されているJAPAN/MARCを使用すべき。作業にあたって学校図書館専門員の研修は、子ども読書活動支援センターが行い、図書館と学校のデータ連携を進めるよう希望。 	11、24	2	修正	データ化については情報収集して次のステップにつなげていきます。また、データ化の手法を検討する中で参考とさせていただきます。P11「データ化について情報収集を行い、効率的に行う方法を検討し、実践につなげることが課題です」、P24「自校での蔵書管理のための方法として研究を続け、情報収集を行い次のステップにつなげていきます」と修正しました。
30	学校へのボランティアについて	学校での読み聞かせについて、図書館が交渉、本の選択をしてボランティアに参加してもらってはどうか。子育てが終わった40代後半から70代の元気な方はやりがい求めているので参加してもらい、学期ごとにできたら理想。	17、25、28	1	追加	P28にも記述がありますが、学校の項目にもP25に「かまくら読書活動支援センターが、学校とおはなしボランティアをつなぐ橋渡しとなるよう取り組みます。」と追加しました。

5. 読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取組みについて (5件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
31	読書活動や図書館利用がしにくい子どもへの取組みについて	<p>小児病棟に録音図書の貸出サービスをしてはどうか。</p> <p>●本1冊全部ではなく、一部とか一章ずつに別けて録音・退院する子どもにその本をプレゼントし、費用は病院内に募金箱を置いてまかなう。</p> <p>●録音図書の中には小説だけでなく詩も入れる。</p> <p>●おはなし会などでの読み聞かせを録音して、もとの本も1冊一緒に貸出すことから始めてはどうか。</p> <p>●録音図書貸し借りの際に簡単な手紙などをつけ、子どもと図書館員がコミュニケーションをとるようにすると、読書や本への興味が増すかもしれない。</p>	20、30	4	参考	著作権の問題もあり、入院中の子どもを対象に朗読図書を作成するのは難しい状況です。すでに図書館資料にある、朗読CD(宮沢賢治など子ども向けのもの)の貸出は可能なので、読書活動がしにくい子どもへの「読書についてのなんでも相談窓口」でニーズを把握していきます。
32		不登校やひきこもりの子どもたちへの対策に積極的に関わってほしい。関係部署やNPOなどと連携して対応していただきたい。	20、30	1	追加	P30に「不登校やひきこもりの子どもたちにも読書を楽しんでもらえるよう、関係部署やNPOなどと連携していきます。」と追加しました。

6. 地域性を活かした取組みについて (2件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
33	文化施設との連携について	<p>私立小学校で「読書」の授業に取り組んでいる。</p> <p>●学校図書館(私立)と市の文化施設との連携を深めたい。鎌倉文学館、吉屋信子記念館での授業、川端康成館への訪問等。</p>	29	1	参考	計画の参考とさせていただきます。

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
34	地元書店や出版社との連携について	公共・学校図書館ともに、地元書店・地元出版社との連携の充実につとめるべき。搬送業務や図書購入など、地元書店や地元出版社との連携により、予算的にも、地域経済の活性化にも大きな成果が期待できる。地元業者との連携を加えてほしい。子どもたちの豊かな読書環境を整備し、胎児のころから老後まで、生涯にわたって本と暮らす文化を創造していくために、図書館・学校・行政・家庭・地域だけでなく、地元書店や出版社も不可欠な要素。この記述を第二次で書き加えてほしい。	29	1	追加	P29に「地元書店・地元出版社との連携の充実に努めます。」と追加しました。P41の取組み事業一覧3-24にも上記内容を追加しました。

7. その他(市図書館への意見) (4件)

NO.	項目	意見骨子	関連頁	件数	対応	市の考え方
35	市図書館の運営について	貸出時間の延長を希望。	—	1	参考	今後の図書館運営の参考とさせていただきます。
36		図書・CDなどを増やしてほしい。	—	1	参考	予算削減の問題はありますが、今後の図書館運営の参考とさせていただきます。
37		他の自治体では、民間委託で、CCCとかスターバックスが運営している。市財政が厳しいならば民間委託も考えてほしい。	—	1	参考	民間委託がコスト削減になるのかということも見極め、読書がしにくい子どもたちへのサービス、学校との連携など公的サービスがやるべきことを追求していきます。
38		鎌倉市の財政も図書館の運営も赤字続きで不利な状況。鎌倉市内の図書館の一部を違う形での運営が必要。レンタルソフト店「TSUTAYA」を展開するカルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)に委託する。	—	1		